

平成24年度 病害虫防除技術情報第1号

平成24年3月30日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部 病害虫チーム

白ネギの病害虫対策について（さび病、ネギアザミウマ）

3月中旬の巡回調査において、さび病、ネギアザミウマが多く発生しています。今後の気象次第では被害の拡大する恐れがあるため、病害虫の発生に注意し、速やかな防除に努めましょう。

1 発生の状況

対象作物	ねぎ類	
対象病害虫	さび病	ネギアザミウマ
発生地域	県北部周年栽培地帯	県北部周年栽培地帯
発生時期	早い	早い
発生面積	多い	多い
発生量	平年並	多い

※詳細については平成24年度発生予察 予報第1号を参照。

2 防除対策

- (1) さび病は気温が10～22℃で降雨が続くと、ネギアザミウマは高温で乾燥が続くと発生が多くなる。これら病害虫は3月の発生が平年より多いので、気象に注意しながら早期防除を行う。

3 防除上注意すべき事項

- (1) さび病
- ①肥料切れして草勢が衰えると被害が大きくなるので肥培管理に注意する。
 - ②多発すると防除が困難になるので、薬剤防除は予防散布や初期散布に重点を置く。また、既に発生が認められている圃場では治療効果のある薬剤（EBI剤、ストロビルリン系剤等）を散布する。
 - ③被害葉等は伝染源となるので圃場の近くに放置しない。
- (2) ネギアザミウマ
- ①周辺雑草が発生源となりやすいので、圃場内外の除草を徹底する。
 - ②本虫の増殖力は高く、生息密度が上昇してからでは防除が困難になるので、早期防除を心がける。

4 防除薬剤について

- (1) ネギは薬剤が付着しにくいので、散布時には必ず展着剤を使用する。
- (2) 防除薬剤は、大分県農林水産研究指導センター病害虫チームホームページ内にある「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」を参照する。農薬使用基準（使用時期、使用回数等）は農薬のラベルに書かれた事項を遵守すること。
(ホームページアドレス <http://www.jppn.ne.jp/oita/shishin/index.html>)